

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

<編集発行>

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361(fax 兼用)
市議会議員 吉田つとむ
yoshidaben@gmail.com



一般質問:水耕栽培メロンの普及拡大状況

栽培作業のプラナスが販売、つがる市展示板

町田市キラリ★まちだ祭が盛大に開かれ、メイン会場の一角に、町田シルクメロン&菓子の販売ブースができていました。コーナー名は、株式会社まちだシルク農園・NPO 法人プラナスという名称でした。町田式新農法という水耕栽培法により、メロンの収穫量を1株1~2個のところ、約60個を实らせることができるものです。システム開発は大浩研熱株式会社という地場企業で、町田シルクメロン栽培は株式会社まちだシルク農園が運営しており、また、栽培作業、東京シルクメロンキャンディー販売、箱詰め作業などを担当するのがNPO法人プラナスと言う次第です。

その販売ブースに立ち寄り、玉川虎屋製のシルクメロンのどら焼きパンケーキとダックワークを購入しました。このブースでの販売は、NPO法人プラナスの皆さんが担当されていました。なお、このブースには、この町田式新農法という水耕栽培法を技術導入してメロン栽培事業を推進する、青森県つがる市の事業案内パネルが町田市産業政策課の協力で掲示されていました。そのつがる市は日本で3番目のメロン生産自治体です。町田式新農法の導入で、通年栽培を目指している自治体です。町田市のシルクメロンとともに拡大してもらいたいと願うものです。



玉川大学大学祭の点数評価は90点とする

企画、運営、動員、対応等が優れており、90点

例年見学している玉川大学の大学祭(コスモス祭)を今年も見学して回りました。同大は文系から理科系、芸術系まで幅広い学部を有していますが、今回は工学部を中心に見学しました。各教室には研究自体の展示や説明があり、来訪者用の展示物が多数ありました。一般の模型(田宮のミニカー)にマイコンを組み込んで走行性能をアップさせているコーナーがありました。親子連れにも人気がありました。その他にも、一般や中高生が観覧して楽しめるもの、学べるものが豊富で親子連れなど1日ながりで楽しめるものでした。



工学部のゼミ研究発表の中に、秋田県内にある「わらび座」と言う(民俗)芸能集団(長年活動が続く、立派な芸能企業)があるが、その事業を一客体としてとらえ、その成長モデルを考案しようとする取り組みに関心を寄せました。当事者は実物を見たことがなく、その映像で研究しようとしており、そのアプローチに関心をもちました。吉田つとむは、少年時代にこのわらび座の地方公演(福岡市)を自ら一人で見学しており、大人になってからは、議会の会派視察でもこのわらび座を訪ねて、その公演を見たことがあり、伝統の継承を優れた事業としていることに関心を抱いていました。

◎水耕栽培メロン 世界一決定戦を開催しよう!

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、第
55期生を募集予定

インターン体験記⑪西條菜々美

JAXA と国民生活センターを見学訪問

インターンシップでのJAXAと国民生活センターの見学は非常に有意義な経験でした。まず、JAXAでは日本の宇宙ロケットの歴史についてスタッフの方から詳しい説明を受けました。日本の宇宙開発の歩みや、これまでの成功と挑戦について学ぶことができました。また、売店で販売されていた本物の宇宙食を購入し、試食しました。試食したグミキャンディの宇宙食はスーパーなどで販売されている普通のグミと何ら変わらない味と食感でした。

次に訪れた国民生活センターでは、商品テストの現場を見学しました。ここでは、実際に働く方から消費者トラブルの具体的な事例を紹介してもらい、どのようにして商品テストが行われているのかを詳しく説明していただきました。例えば、電化製品の安全性テストや食品の品質検査など、消費者の安全を守るための取り組みを間近で見ることができました。この見学を通じて、宇宙開発の最前線と消費者保護の現場の両方を体験することができ、非常に貴重な学びとなりました。今後のキャリア選択においても、大いに参考になる経験でした。



昭和女子大学3年生 西條菜々美(第54期)

インターン体験記⑩ 蛭田 咲菜

JAXA(宇宙航空研究開発機構)の相模原キャンパスに伺いました。ここでは宇宙に関する様々な謎を研究しており、その敷地内には宇宙科学研究所のメインキャンパス、そして宇宙教育センター、宇宙探査イノベーションハブの実験施設、ロケット・人工衛星搭載機器の基礎開発・試験を行う先端宇宙科学実験棟などが設置されています。今回私たちは、宇宙探査交流棟の見学をしました。ここでは日本のロケット開発の歴史年表や、実際のロケットの展示や、探査機の実物大模型など、様々な展示がされており、係の方の説明を聞きながら、展示を見学しました。



昭和女子大学3年生 蛭田咲菜(第54期生)

その後、売店で宇宙食を購入しました。私はきなこ餅とチョコレート味のパンの宇宙食を選びました。きなこ餅は、白い板状の餅を水に浸し、それにさらに付属のきなこをまぶして食べます。餅は普段食べるものより柔らかく瑞々しいためきなこが付きやすく、食べやすかったです。一方パンは、災害時の非常食と同様のものでした。かなり大きくボリュームがありました。他にもイチゴのショートケーキの宇宙食などもあったので、ぜひ食べてみたいです。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2024年9月末までに110名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎次回のインターンシップは、2025年春季募集で2024年11月より広報開始しました。